

熊本五福幼稚園・古町幼稚園 閉園せずに存続を！

熊本市教育委員会は、「熊本市立幼稚園基本計画（素案）」のなかで、発達障害などへの対応のために特別支援教育充実等を掲げる一方、そのための人員を確保することなどを理由に古町幼稚園、熊本五福幼稚園の2園を閉園する方針を示しました。

こうした方針に対して保護者からは、閉園の白紙撤回・存続を求め

る切実な声が寄せられています。市議団としても直接、園を訪ね、聞き取りを行いました。



閉園の方針が出された
熊本五福幼稚園

「定員充足率が低い」などは閉園の理由にならない

熊本市は、閉園の理由として「定員に対しての園児数が低い」ことをあげています。

熊本五福幼稚園の場合は、定員125名に対して、園児数は48人。充足率は38%です。

しかし、充足率が低いのであれば、定員を適切な数に見直せばすむことであり、素案に示された適切な集団規模（1学級あたり3歳児10名以上、4・5歳児18名以上）の確保もおおむね満たされています。さらに、熊本駅前なども含め周辺では新たな住宅やマンションも建設され、今後需要が

高まることも考えられます。

また、「ことばの教室」「あゆみの教室」などの充実のために人員確保が必要ということも閉園の理由とされていますが、必要な人員は、閉園によって確保するのではなく、市が新たに採用し確保すべきです。

中心市街地での300億円もの大型会議場整備など再開発を見直せば、教員の増員や幼稚園教育の充実のための経費は十分に生み出すことができます。

2園の閉園を迫る理由は何一つありません。

利用者・保護者の声こそ尊重すべき

閉園の方針を知った保護者からは「閉園の白紙撤回」「園の存続」を求める声が寄せられており、そのための署名集めも始まっています。

閉園先にありきで、その後「ご理解を」という市民不在の市政運営とならないよう、

利用者の声をしっかりと聴き、存続の声に誠実に向き合うべきです。



パブリックコメント（意見公募）にご意見をお寄せ下さい

熊本市立幼稚園基本計画（素案）についての意見公募がおこなわれています。

期限は、11月6日までです。ぜひ皆様のご意見をお寄せ下さい。

【素案の入手方法】

- ・ホームページによる閲覧
- ・教育委員会、市政情報プラザ（市役所1階）、区役所（中央を除く）、総合出張所、出張所、ウエルパルクまもと、中央・五福・河内まちづくり交流室、各地域コミュニティセンターなど

（控室から）
「本」と親しむ

上野 みえこ

一番下の娘が小学生の時から参加している小学校での朝の読み聞かせも、十年になりました。年数回ですが、学年に合わせ、頭をひねって本を選び、毎回楽しみに出掛けています。今月は、1年生でした。入学式の際は落ち着かず、見ている方がドキドキするような子どもたちでしたが、わずか半年で見違えるように。本を開く私の周りに膝つき合わせて座り、目を輝かせて「早く早く」と、お話の始まりを催促してくれます。保護者や地域の人、登録したボランティアによる、わずかな時間の1冊の本との出会いではありますが、その積み重ねは、子どもたちの心にかけてがえのない宝物を残していくのではないのでしょうか。

先日、赤旗紙面で、作家の高村薫さんは、「メールやツイッターの普及で短い言葉のやり取りだけになれば、複雑な思考や言葉が生き残れない。この流れに抗するには読書しかない」と語られていましたが、改めて本とふれあう大切さを感じました。

秋の夜長、みなさまもぜひ本に親しんでください。私は、孫にも絵本の読み聞かせをしてあげたいと思います。



日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 873

2013年11月3日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

＜議会運営委員会視察報告＞・・・益田牧子

日本共産党熊本市議会だより 2013 年 11 月 3 日号

請願者席もあり「市民参加・市民に開かれた」町田市議会

写真上側が請願者席

議会運営委員会視察で、町田市議会を訪問しました。町田市は人口 42 万人、議員定数は 36 人（現員は 33 人）、日本共産党議員は 5 人、民主・社民・ネット、公明党に次ぐ第 3 党。（自民党は 4 人で第 4 党）議員構成も、3 期が 10 名で一番多く、1～3 期目が 24 人で約 7 割、平均年齢は、51.7 歳。自由闊達で市民に開かれた議会活動が行われていました。

熊本市議会で参考にすることが沢山ありました。中でも、早急に実現したいのは、委員会での請願者・陳情者への趣旨説明の席を設けることです。（写真右）



委員会は、円卓で開催され、請願者の席もあり、趣旨説明後には、議員からの質疑もあります。



本会議場には、親子傍聴席や前列に車椅子専用スペースがあり、付添人の椅子もあります。

（町田市議会活性化の取り組み）

- ＊各常任委員会による市民団体等との懇談会を活性化（10 年度 7 団体、11 年度 6 団体）
- ＊委員会行政視察の市議会だよりでの報告と各議員の報告書提出
- ＊本会議での電子投票システム採用・議員個人の賛否の公表
- ＊委員会インターネット生中継・録画配信
- ＊コミュニティバスに「町田市議会開催」のお知らせ掲示、町内会・自治会に「町田市議会開催」のパンフレット配布

議会毎に、30 人前後の議員が一般質問（答弁含め 60 分）

議会は「言論の府」と言われます。町田市議会では、2003 年 6 月定例会から一般質問を議員 1 人当たり 40 分（答弁含まず）から議員一人当たり 1 時間（答弁含む）へ変更。回数制限はなく、毎議会の一般質問者が 30 名を超え、12 年 9 月議会から開催日数が 4 日間から 5 日間に増やされました。

熊本市議会では、一般質問は 90 分（答弁含まず）ですが、質問回数は、年 1 回だけです。活発な議会のためには、回数制限をなくすべきではないでしょうか。

決算審査では、議会意見をまとめ、当初予算に反映

9 月議会では、決算特別委員会が開催され、委員会ごとに 5 日間かけて審査。出された意見は、「決算特別委員会議案審査報告書」としてまとめ、当初予算に反映させる努力が行われています。（2011 年度は 169 項目を指摘）

熊本市議会では、予算決算常任委員会を設置。当初予算・決算審査では、総括質疑・締めくくり質疑が会派の持ち時間で行われています。予算・決算審査は、各常任委員会での分科会審査となっています。日本共産党は、「決算重視」の立場から、従来通りの議員全員参加による決算委員会の慎重審査を求めています。

計画段階から議会への報告・チェックシステム

町田市では、市政に関わる重要な計画等及び基本条例等を議会に報告されます。計画段階からの情報提供により、議会のチェック機能が発揮できます。

（議会に報告する事案）

- ＊パブコメ手続きを伴う市の重要な基本計画、指針等の策定・改定
- ＊市の基本的な方針、市民協働の原則に関する事項を規定する条例制定
- ＊市民に義務を課し、もしくは権利を制限する条例（金銭の徴収は除く）制定又は改廃を行うとき

（議会に報告する方法）～議長に報告。議長は、市長等に代表者会議、常任委員会、全員協議会への報告、全議員への報告文書配布を求める

（報告の時期）

- (1) 基本方針決定時、(2) 計画案・条例素案のパブコメ前、(3) 最終案決定前
- (4) 最終案の公表前

- ＊市長等が報告の必要性があると認めた時は適宜報告されます。
- ＊議会は必要があると認めるときは意見を申し出ることができます。